

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	○		1名あたり2.47㎡の基準に対して、指導訓練室として74.09㎡を確保しています。	訓練室が2部屋に区切られているため、活動によってプログラムの進め方や環境の設定に工夫と配慮が必要となっております。
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、 職員の配置数は適切であるか。	○		基準以上の職員を配置しています。	
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	○		視覚的に分かりやすく表示する工夫をしています。スロープの設置や段差を作らない配慮をしています。	それぞれの特性を知り、一人一人に合った環境について配慮できるよう、職員間の意識統一が必要となります。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	○		日々使った玩具や室内の消毒・清拭を継続して行っています。 活動内容により、環境設定をおこないます。	
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	○		カーテンや、パーテーション等も使って、プライバシー保護や、落ち着ける環境づくりに努めています。	
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	○		職員間で意見を出し合って改善に努めています。	
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	○		今回の様なアンケートを年1回以上行い、改善に努めます。	
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	○		業務改善につながる機会となる様、役職者との面談を実施しています。	
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。		○	現在は行っておりません。	
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	○		資格取得のための研修にも積極的に参加するようにしています。	
適切な支援の提供	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	○		ホームページにて公開しています。	
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	○		保護者の方や、子どもたちから、今後の進路や希望についてのお話を聞き、計画に反映できるよう努めています。	
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	○		日々の記録や個別支援会議での話し合いを通して、共通理解の下、計画を完成させています。	経験やキャリアの違う職員がそれぞれの視点からの意見をすり合わせながら、同じ着地点を目指すことが出来るような環境づくりの大切さを感じています。
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	○		共通理解の下作成された計画に沿った支援を心掛けています。	
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	○		5領域に沿ったシステムの導入と共に、日々の記録により個別の状況を確認しています。	
	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	○		ご家庭や地域の状況を考慮して計画を立てるように努めています。	地域の資源を有効に活用できるように、無理なく外出の計画を立てているつもりですが、参加にしんどさを感じる子どもに対しての配慮について難しさを感じる事がありました。個別に保護者様と細やかな打ち合わせが必要な場合もあると改めて思いました。
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	○		職員間で案を出し、担当を決めて立案しています。	
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	○		5領域を意識し、プロジェクターやタブレットを活用したプログラムをはじめ、季節の行事、お出かけなどを実施しています。	

供	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	○	集団活動においても一人一人の目標に沿ってその子なりの参加の仕方を認められるように計画を立てています。	学年が高くなるほど平日のタイムスケジュールの組み方に難しさを感じています。ニーズに合った支援を実施できるよう努めます。
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	○	シフトにより参加出来ない職員は記録を見て確認するようにしています。	
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	○	当日又は次の日に支援の内容や子どもたちの様子を共有しています。	
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	○	サービス記録をもとに検証、改善していきます。	
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	○	日々の支援の記録を反映しモニタリングを行い、見直しについて判断します。	
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせ支援を行っているか。	○	一人一人の特性を考慮し、分かりやすく、楽しく参加できるよう、活動を組み合わせていきます。	
	25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	○	「したくない」という選択も認めながら、切り替えたり、折り合いをつけて、自分なりの参加の仕方を考えられる支援を心掛けます。	
関係機関や保護者との連携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	○	主に児童発達支援管理責任者が出席しています。	
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	○	必要に応じ連携できる体制を整えています。	
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	○	保護者様を介してのやり取りを基本としておりますが、緊急時等臨機応変な対応が必要な場合はこの限りではありません。	さらに連携を深め、良い関係作りが出来る様努めて参ります。
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	○		保護者様同意の下共有できるようになるとより理解が深まると思います。
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	○		必要に応じ、今後対応していきたいと思います。
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	○	今後そのような機会が増えると思っています。	今年度より充足した「放課後等デイサービス連絡会」に積極的に参加し、地域連携や研修への参加等が出来る様にと考えます。
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	○	児童館や公園に出かけ、地域との交流をしています。	
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	○	充足当初から可能な限り参加しています。	
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	○	日々の様子は連絡帳のやり取りをはじめ、送迎時や電話で様子をお伝えするなどして、共通理解に努めています。	
	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	○		ご相談等随時受けていますが、ペアレントトレーニング等の研修を継続して受け、職員の資質向上を図れるようにしたいと思います。
	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	○	契約や面談時にお話しさせていただきます。	
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	○	成功体験を積むことで自信に繋がる様、内容を考慮し作成できているかを確認させていただいています。	
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	○	計画の内容をご説明させていただいて、同意を得ています。	
	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	○	電話や書面などでご相談下さった事について、お話を伺いし職員間で共有しながら適切に対応できるように努めております。	

保護者への説明等	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機械を設ける等の支援をしているか。		○		保護者様のご意向や状況により検討して参りたいと思います。
	41	こどもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	○		その都度出来る限りの対応させていただいております。また、必要であれば虐待防止委員会にての対応を致します。	
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	○		noteをつかって活動の様子をホームページで発信しています。	
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	○		書類等を鍵付きロッカーにて保管しています。職員には守秘義務について、周知徹底しています。	
	44	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	○		視覚支援など、一人一人に分かりやすい方法を取り、配慮しています。	
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。		○	避難訓練の際の声掛けや、外出時の挨拶等、普段の活動の中で地域の方と関わる機会を大切にしています。	大きな行事の予定は、検討の余地はありますが、今の所ありません。
非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	○		作成したマニュアルは、事業所内で見られるようにしております。	ご存知ない方に、お伝えするようにいたします。
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	○		訓練と共に研修も行っています。	
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	○		個別に契約時のオリエンテーションで詳しく話を伺う他、気になる時はすぐに確認を取るようにしています。	
	49	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	○		指示書のコピーをいただくと共に、保護者様に確認を取り、間違いの無いよう除去を表示した個別のプレートで食事を提供しています。	
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	○		安全計画を基に、研修、訓練、環境整備をしています。	
	51	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	○		警報時等の開所については、契約時にお話しています。各種マニュアルはいつでも閲覧できるよう事業所入口に置いてあります。	
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	○		当事者が適宜記入し、対応を話し合ったり、予防について共有し再発防止に努めています。	
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	○		市や県の研修に参加したり、内部研修を実施しています。	
	54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。		○	身体拘束適正化の指針に明記しています。拘束以外に方法がないと思われるお子さんのご利用は今の所ありません。	必要に応じて強度行動障害に対する研修等を受け、理解を深め、職員の資質向上を目指して参ります。